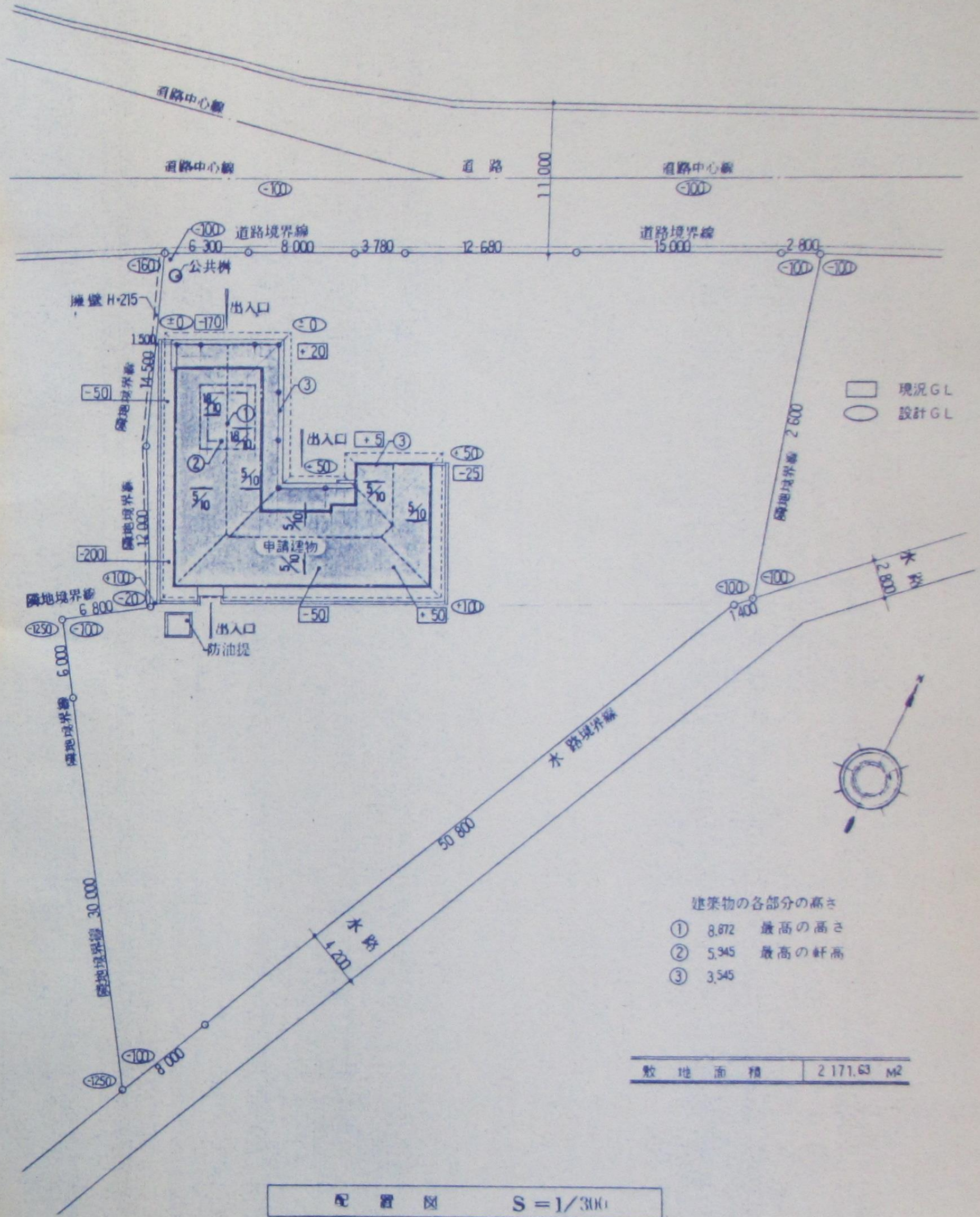


1. 設計者 2. 施工管理技術者 3. 材料の種別 4. 高力ボルト 5. 部材完了後の検査 6. さび止め塗料 7. 耐火被覆 8. アンカーボルトの保持及び埋込方法 9. 柱底均しモルタル 10. 部材取組めつき 11. 防火材料 12. 防水工 13. 屋根及び壁の工 14. 金属工 15. 左官工 16. 建築工 17. 電気工 18. 設備工 19. 塗装工 20. 金工 21. 鉄工 22. 瓦工 23. 土工 24. 測量 25. 測量 26. 測量 27. 測量 28. 測量 29. 測量 30. 測量 31. 測量 32. 測量 33. 測量 34. 測量 35. 測量 36. 測量 37. 測量 38. 測量 39. 測量 40. 測量 41. 測量 42. 測量 43. 測量 44. 測量 45. 測量 46. 測量 47. 測量 48. 測量 49. 測量 50. 測量 51. 測量 52. 測量 53. 測量 54. 測量 55. 測量 56. 測量 57. 測量 58. 測量 59. 測量 60. 測量 61. 測量 62. 測量 63. 測量 64. 測量 65. 測量 66. 測量 67. 測量 68. 測量 69. 測量 70. 測量 71. 測量 72. 測量 73. 測量 74. 測量 75. 測量 76. 測量 77. 測量 78. 測量 79. 測量 80. 測量 81. 測量 82. 測量 83. 測量 84. 測量 85. 測量 86. 測量 87. 測量 88. 測量 89. 測量 90. 測量 91. 測量 92. 測量 93. 測量 94. 測量 95. 測量 96. 測量 97. 測量 98. 測量 99. 測量 100. 測量

Architectural specification document for a project titled "観光PRセンター新築工事設計図" (Tourism PR Center New Building Construction Design Drawing). The document is organized into columns for different construction items (e.g., 1. 建築工事, 2. 電気工事, 3. 水道工事, 4. 暖気工事, 5. 衛生工事, 6. 舗装工事, 7. 緑化工事, 8. 園芸工事, 9. 造園工事, 10. 土工事, 11. 測量工事, 12. 測量工事, 13. 測量工事, 14. 測量工事, 15. 測量工事, 16. 測量工事, 17. 測量工事, 18. 測量工事, 19. 測量工事, 20. 測量工事, 21. 測量工事, 22. 測量工事, 23. 測量工事). Each item includes detailed specifications, materials, and quantities. The document is signed by the architect, 株式会社 〇〇〇, and includes a date of 〇〇年〇〇月〇〇日. The page number is 4.



案内図



- 建築物の各部分の高さ
- ① 8.872 最高の高さ
 - ② 5.345 最高の軒高
 - ③ 3.545

敷地面積 2,171.63 M²

配置図 S=1/300

訂正	月・日		承認	担当	製図	設計年月日	工事名称	図面番号
							観光PRセンター新築工事設計図	A-5
						縮尺 S=1/300	図面名称 案内図配置図	

外部仕上表

基礎廻り	モルタル引き 天端モルタル均し	床下換気口120×300 プラスチック製 開閉ツミ付	軒天	φ5有孔スラブ石膏板VP	断熱材	床下 押出法ポリスチレンフォーム3種φ40
外壁	土台水切 アルミ押出し成形 通気水切		ボーチ	磁器質床150角タイル、段鼻タイル		壁、天井φ100グラスウール16kg
	φ4ラワン合板下地1類φ12ヒバ板木枠保護着色塗料3面塗(相じゃくり)		天井:	φ5スラブ石膏板VP 敷目地	その他	トイレ壁φ100グラスウール16kg
	ファイラー処理後層仕上塗材RE(φ4.0ラワン合板下地)		犬走り	玉砂利敷込φ100、歩道境界ブロック150/170×200×600		看板名称 観光PRセンター、ステンレスボックス文字200×200
屋根	通気シート下地 φ12塩化ビニル樹脂入りでメントけい酸カルシウム板		サッシ	アルミ製ブラック(住宅用)アミ戸付		ステンレス製ヘアライン仕上
	φ9野地板	アスファルトルーフィング23×8				展示収納室外部出入口床仕上:コンクリート全ゴテ仕上
	φQ4、フッ素樹脂塗装鋼板A号積重ね (破風、棟瓦 其)	雪止	シーリング	建具廻り C種10×7		

内部仕上表

室名	床		巾木		腰		壁		天井		天井高	備考	天井 点検口	室名 点検口
	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上				
観光展示室	M	半硬質コンポジションビニール 3×304×304 床タイル	RC	木製 9×720SCL	W	φ9ラワン合板OSCL	W	φ125石コウボード下地 ビニールクロス貼(2級品)	W	φ9.5化粧石膏ボード	6.500~ 2.800		○	○
展示収納室	M	エポキシ樹脂塗床防汚仕上	RC	木製 9×750P			W	φ12.5防水石膏ボードEP	W	φ9.5防水石膏ボード敷目地EP900×900	2.500			○
湯沸室	M	エポキシ樹脂塗床防汚仕上	RC	木製 9×750P			W	φ12.5防水石膏ボードEP 一部100角磁器質タイル	W	同上	2.500	床下換気口φ120、レンジフードファン 流し台φ120、ガス栓φ600	○	○
掃除員入1	M	エポキシ樹脂塗床防汚仕上	W	木製 9×750P			W	φ12.5防水石膏ボードEP	W	φ9.5化粧石膏ボード	2.300	給気口:アルミ製丸形ガラサデ5・ ABS製レシズ9-		
ホール	M	150角床磁器質タイル	RC	木製 9×750P			W	φ12塩化ビニル樹脂入りでメントけい酸カルシウム板 ファイラー処理後層仕上塗材RE	W	φ9.5石膏ボード下地 φ12ロックウール吸音板	2.625			
角湯室用トイレ	M	100角床磁器質タイル					W	φ12.5防水石膏ボード 100角床磁器質タイル	W	φ9.5防水石膏ボード敷目地EP900×900	2.400	角湯室手摺一式傾斜鏡(設備工事)	○	○
男子トイレ	M	100角床磁器質タイル					W	同上	W	同上	2.300	カガミ H=900 苔木・足動石 手洗 マーブライトカウンター	○	○
女子トイレ	M	100角床磁器質タイル					W	同上	W	同上	2.300	カガミ H=900 手洗 マーブライトカウンター	○	○
踊込	RC W	150角床磁器質タイル φ12床用化粧フロア	W	150角磁器質タイル 木製 9×750SCL			W	φ125石コウボード下地 ビニールクロス貼(2級品)	W	φ9.5化粧石膏ボード	2.500	下駄箱造付		
掃除員入2	W	φ12床用化粧フロア	W	雑巾摺			W	同上	W	同上	2.300			
王将太鼓練習室	W	φ9廣適合板下地 φ12床用化粧フロア	W	木製 9×750SCL	W	φ9ラワン合板OSCL	W	同上	W	同上	2.500			○
太鼓収納室	W	φ9廣適合板下地 φ12床用化粧フロア	W	木製 9×750SCL			W	同上	W	同上	2.300	アルミ製床下点検口450×450	○	○
更衣室	W	φ12床用化粧フロア	W	木製 9×750SCL			W	同上	W	同上	2.300			○

凡例

- RC 土間コンクリート下地
- W 木組下地
- M 均シモルタル下地

- OP 合成樹脂調合ベニト塗
- VP 塩化ビニル樹脂エナメル塗
- OS 油性ステイン塗
- CL クリアラッカー塗
- EP 合成樹脂エマルジョンベニト塗

不燃,準不燃

- φ9.5化粧石膏ボード 準不燃(個)第2016号
- φ125石コウボード下地ビニールクロス 建築材料(通)第0003号
- φ9.5防水石膏ボード 準不燃(個)第2018号
- φ12ロックウール吸音板 不燃(個)第1021号

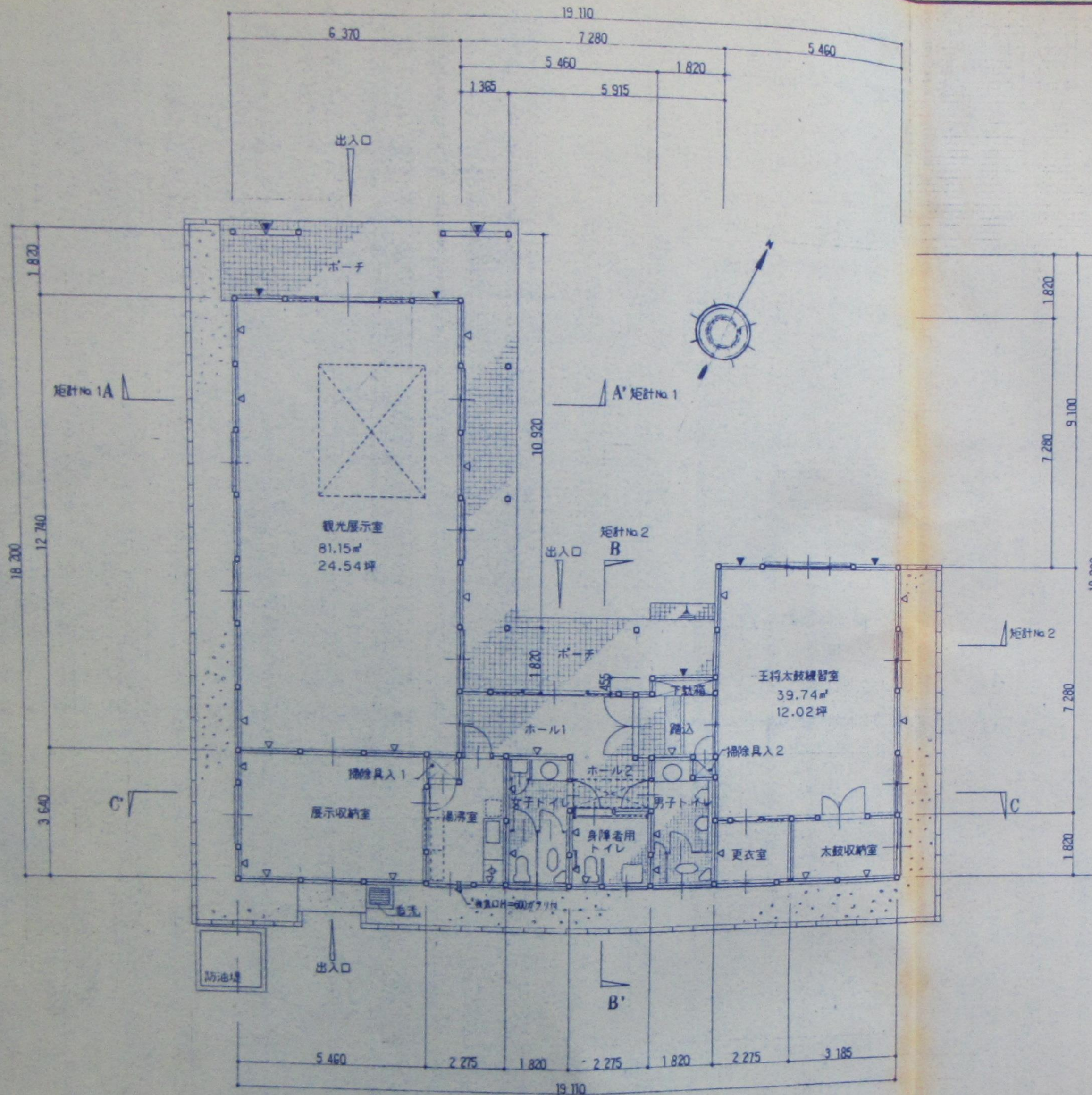
特記事項

- 木材寸法見え隠れはひきたて寸法造作材は仕上がり寸法とする
- 外部ラワン合板は1類、内部ラワン合板2類
- 金物については公庫仕様による。
- 高さH=1000まで、防漏剤ヌリ(GLヨリ)
- アルミ製床下天井点検口450×450
- 床下φ015ポリエチレンフィルム敷
- 外壁下地は通気工法とする。
- 室名札ビクトグラフ150×150を便所のみとする。(他はアクリル製シルク印刷板とする)
- 木材は外部廻りヒバとする。
- 木造の金物は公庫仕様による。
- ビニールクロスのランクはA~Bとする

(注)

- 木工事については、住宅金融公庫の木造住宅工事仕様書を準用する。

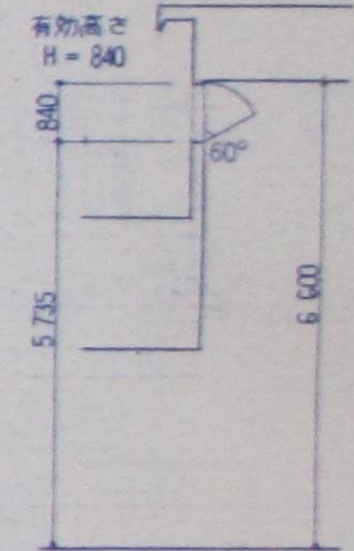
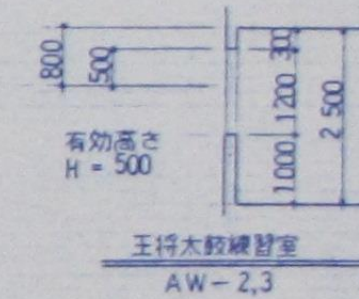
訂正	内、包		承認	担当	製図	設計年月日	工事名称	図面番号
						観光PRセンター新築工事設計図		
						図面名称		
	縮尺					仕上表		



平面図 S=1/100

令第126条の2第1項による令第116条の2第1項第二号の検討 (㎡)				
室名	床面積	必要面積 ×1/50	有効面積	判定
観光展示室	81.15	1.62	$0.72 \times 0.84 \times 4 = 2.41$	OK
王将太鼓練習室	39.74	0.79	$1.3 \times 0.5 + 0.85 \times 0.5 \times 2 = 1.5$	OK

換気計算 (㎡)				
室名	床面積	必要面積 ×1/20	有効面積	判定
観光展示室	81.15	4.05	$0.85 \times 1.35 \times 5 = 5.73$	OK
王将太鼓練習室	39.74	1.98	$1.3 \times 1.2 + 0.85 \times 1.2 \times 2 = 3.6$	OK

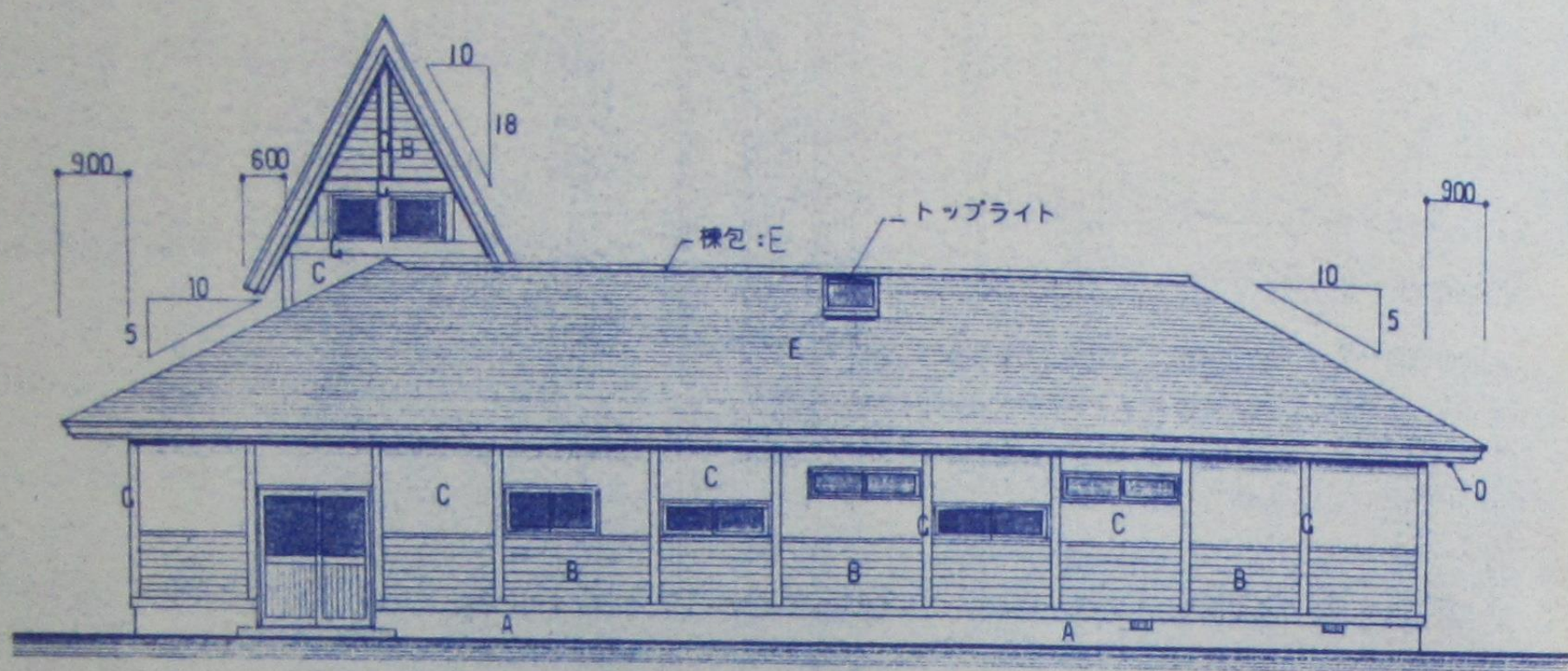


観光展示室
AW-8
※ 昭和47年建設省告示第32号により有効

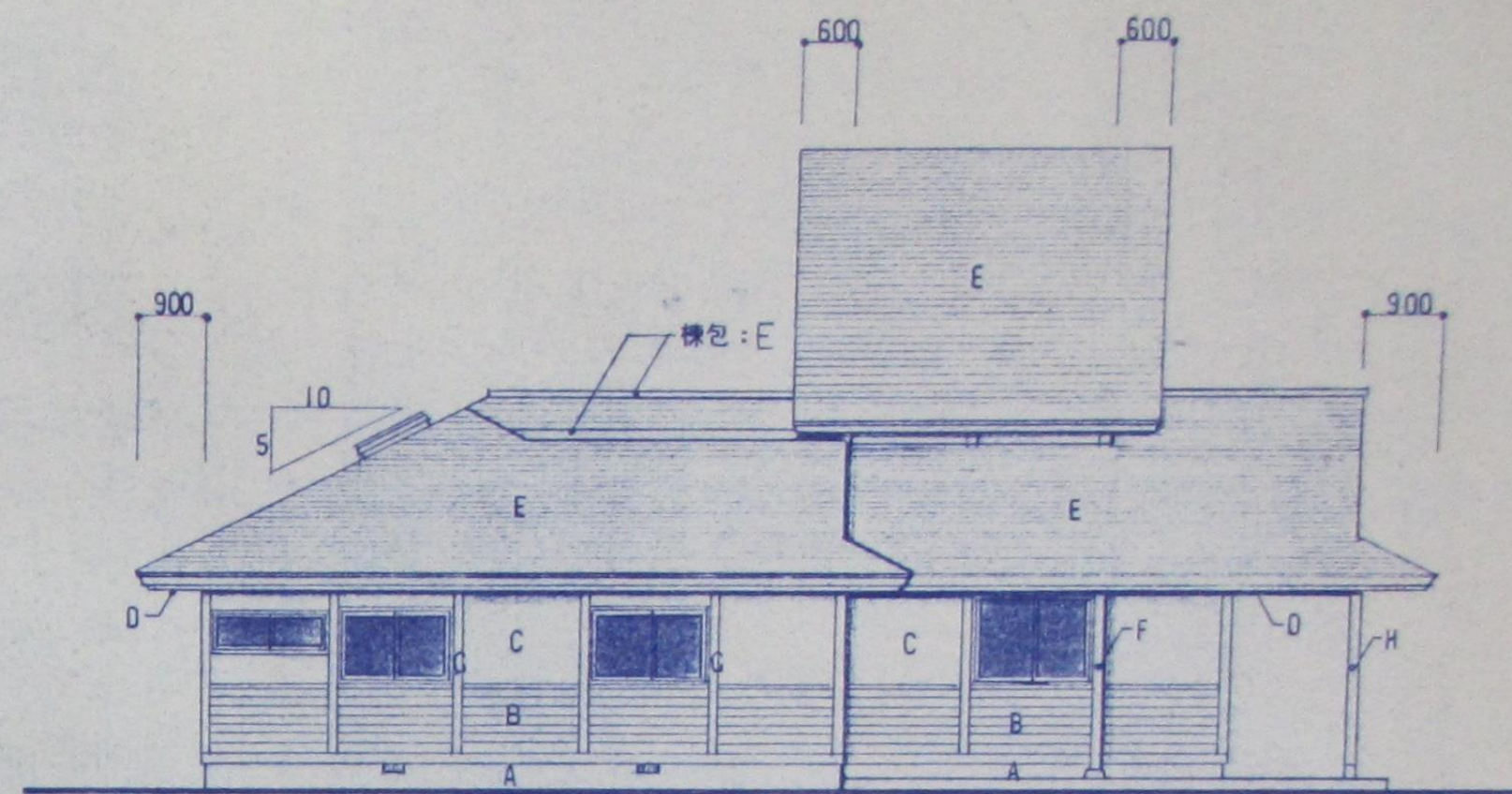
建物面積表		
建築面積	233.52 (㎡)	70.63 (坪)
1階床面積	194.60 (㎡)	58.86 (坪)
延床面積	194.60 (㎡)	58.86 (坪)

凡 例	
▷	筋違イ 90×45
▶	筋違イ 90×45 タスキ掛
▶	筋違イ 120 × 120 タスキ掛 (仕上材)
□	吹抜を示す
柱の寸法	120 × 120

無窓階検討表 (㎡)			
床面積	必要箇所 必要面積 1/30	有効箇所 有効面積	判定
194.60	2ヵ所 $194.60 \times 1/30 = 6.48$	2ヵ所 $1.66 \times 2 \times 2 = 6.64$ AD-1	OK

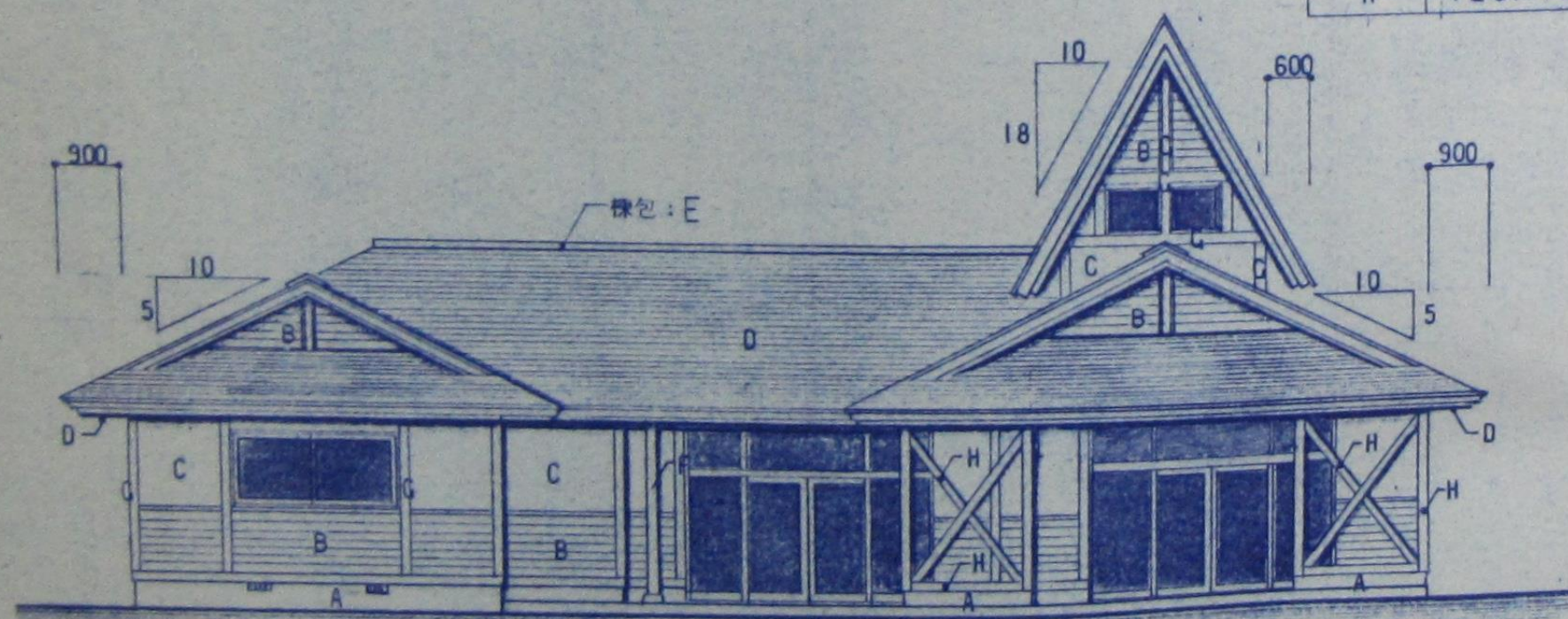


南立面図 S = 1/100

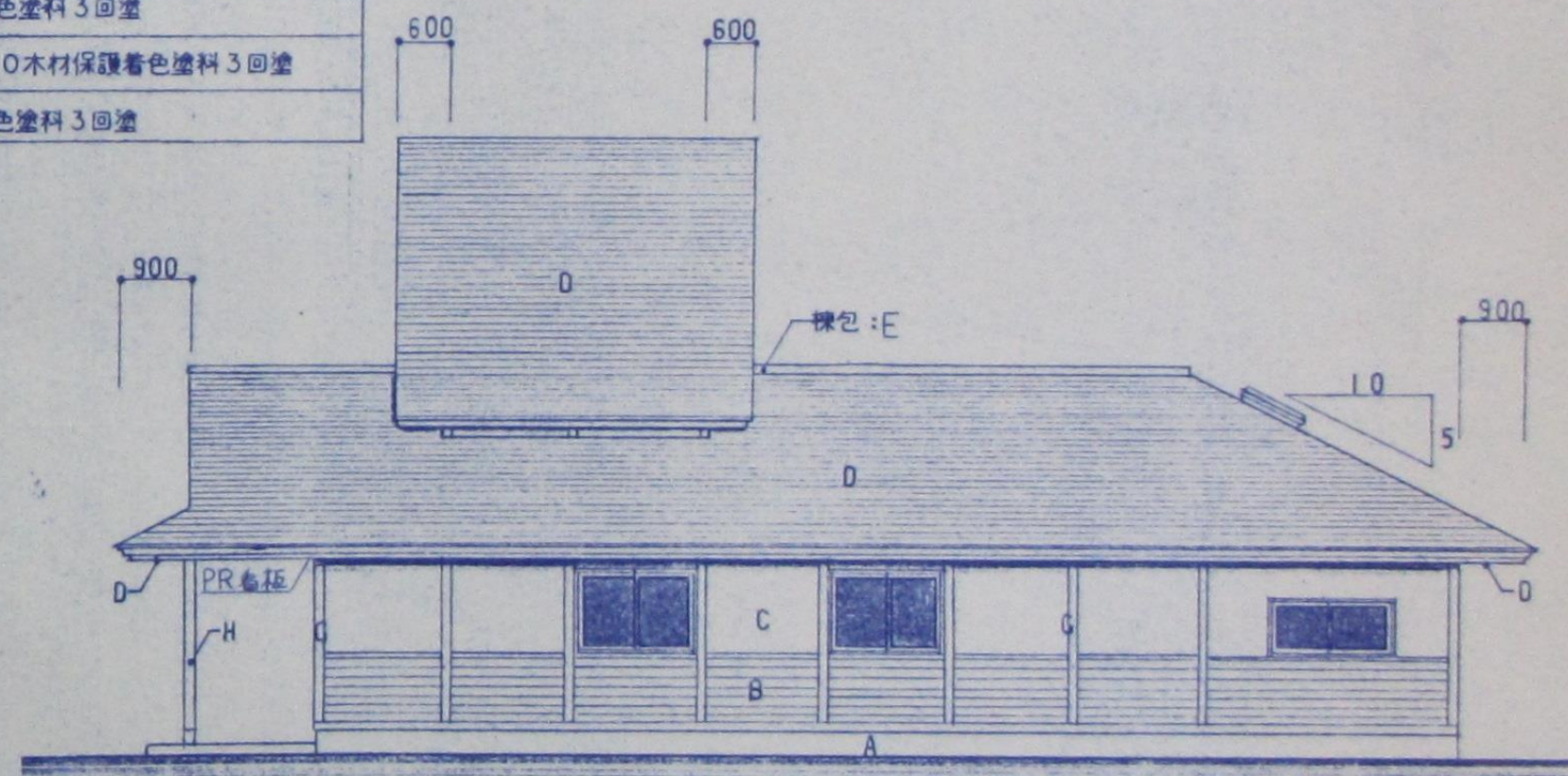


東立面図 S = 1/100

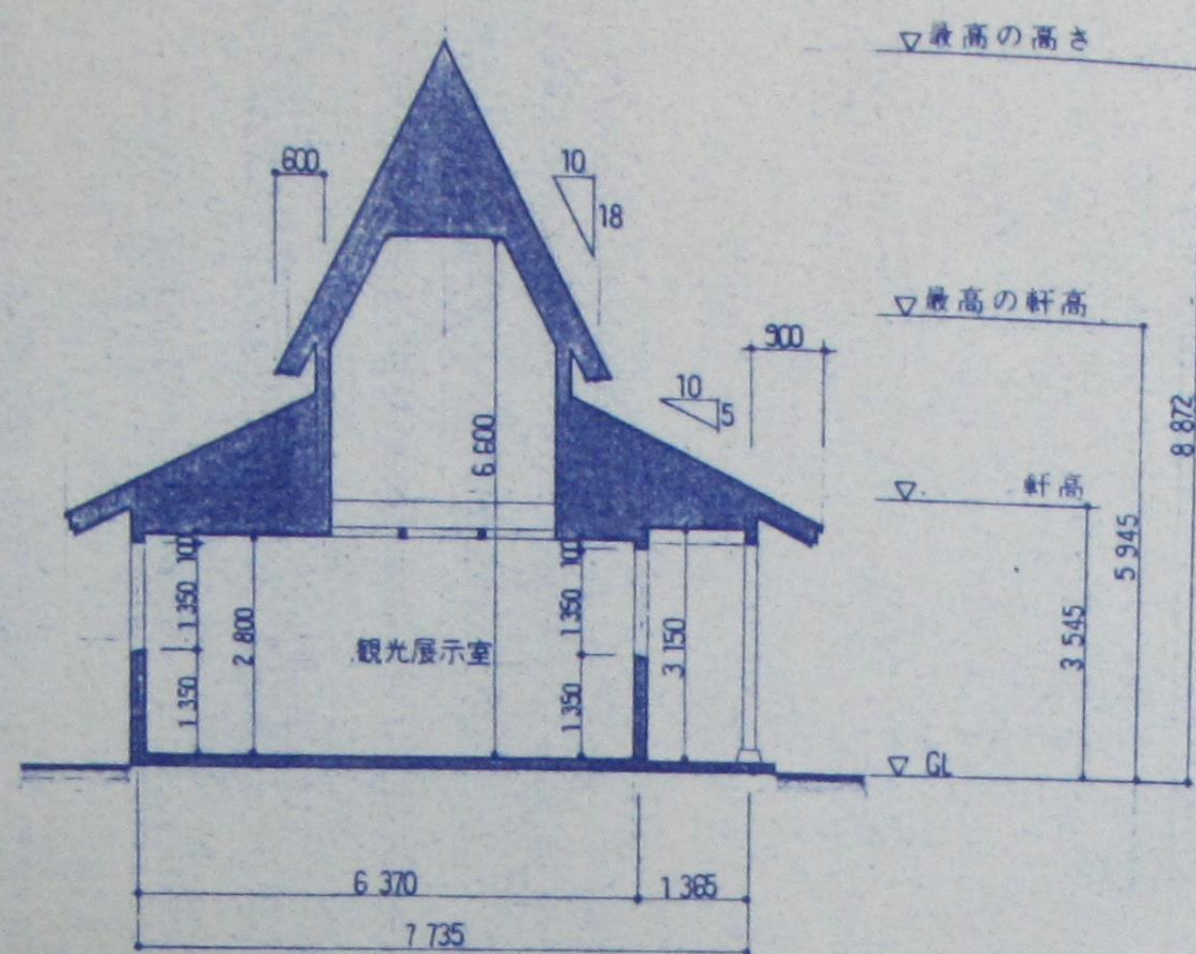
凡	例
A	モルタル刷毛引き
B	① 12ヒバ板相じゃくり木材保護着色塗料3回塗
C	② 12セメントサイカル板フィラー処理複層仕上塗材RE
D	③ 5有孔スラグ石膏板VP
E	④ 04フッ素樹脂塗装鋼板A号横葺
F	135×135ヒバ木材保護着色塗料3回塗
G	付柱・付梁・ヒバ① 120×30木材保護着色塗料3回塗
H	120×120ヒバ木材保護着色塗料3回塗



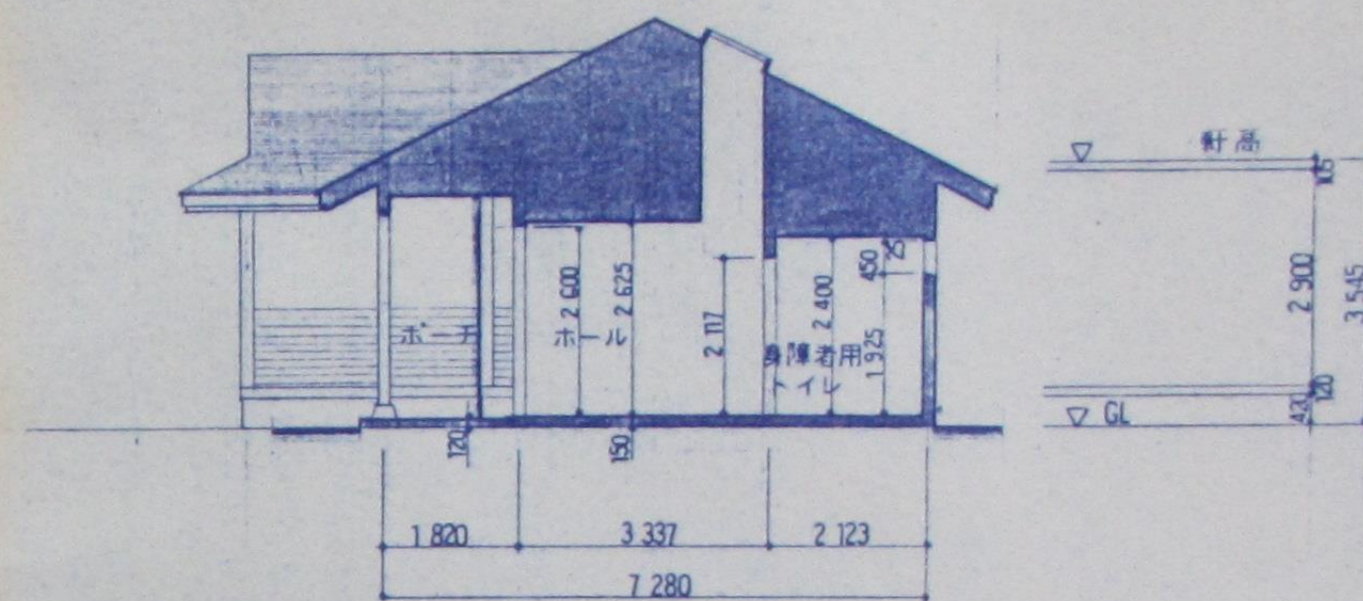
北立面図 S = 1/100



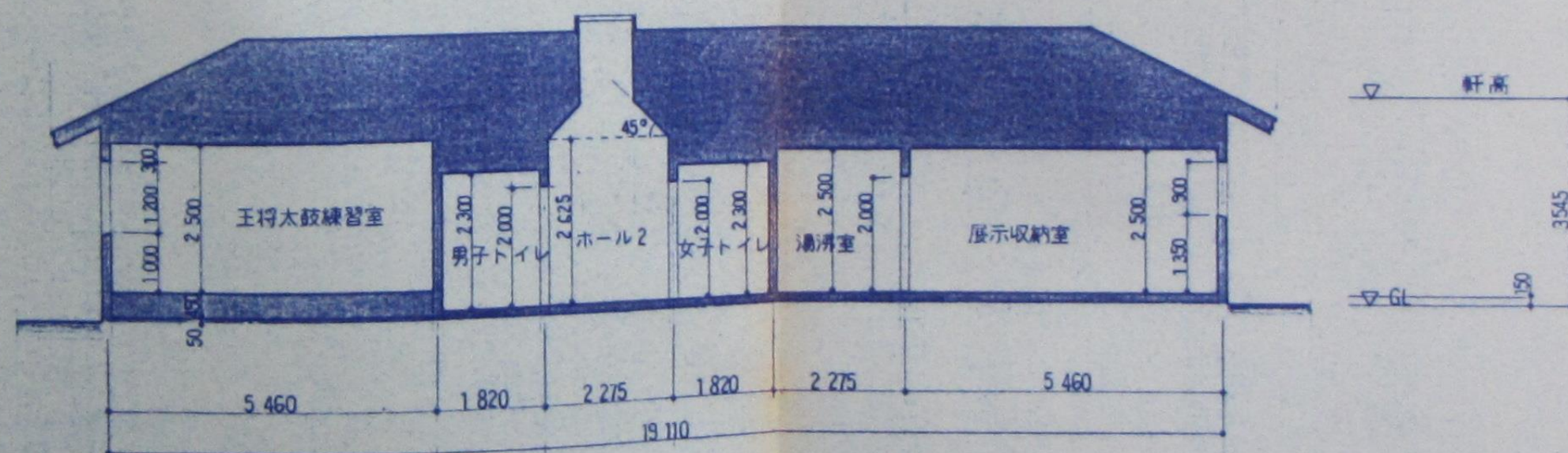
西立面図 S = 1/100



A~A' 断面图 $S=1/100$

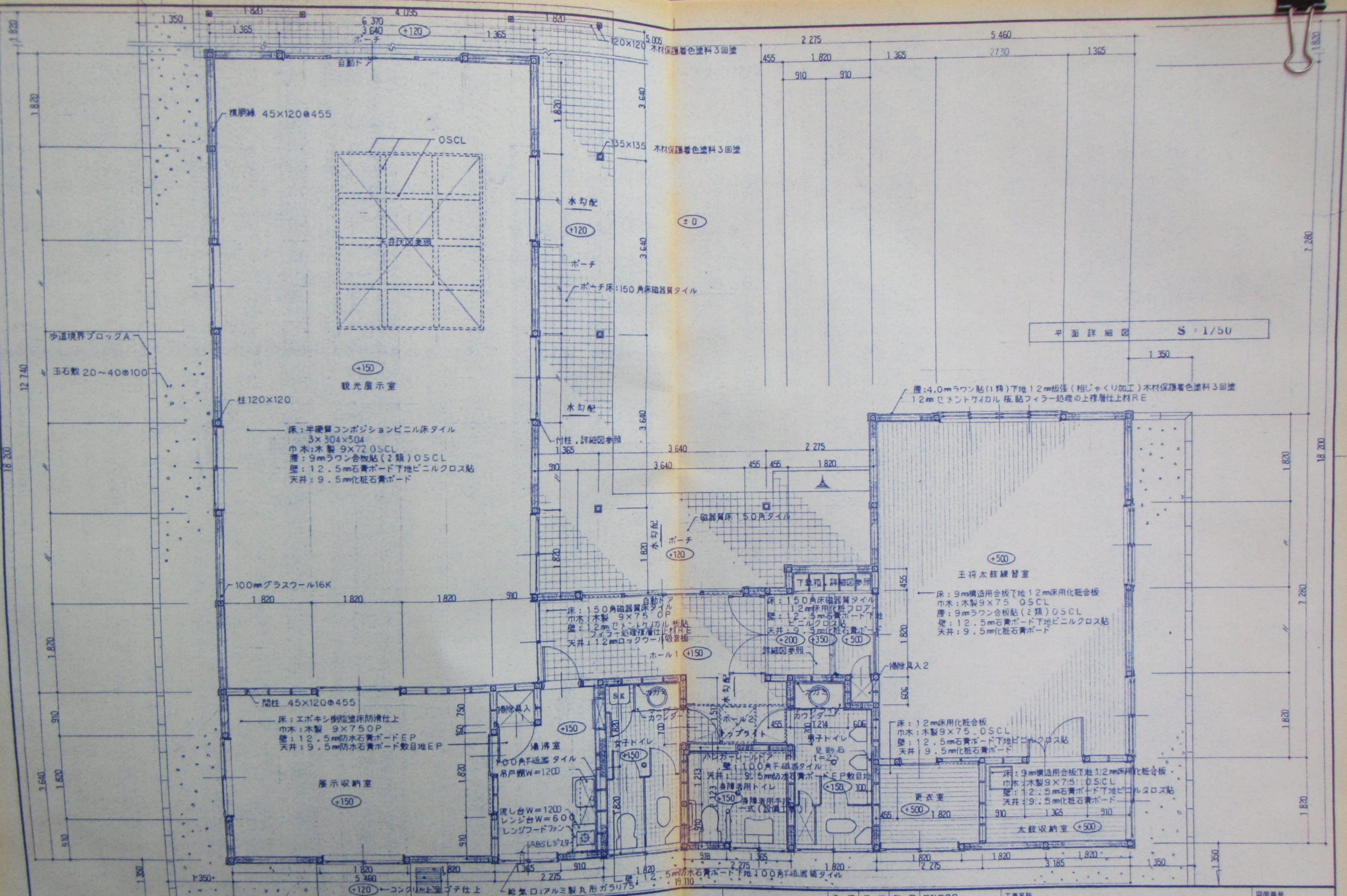


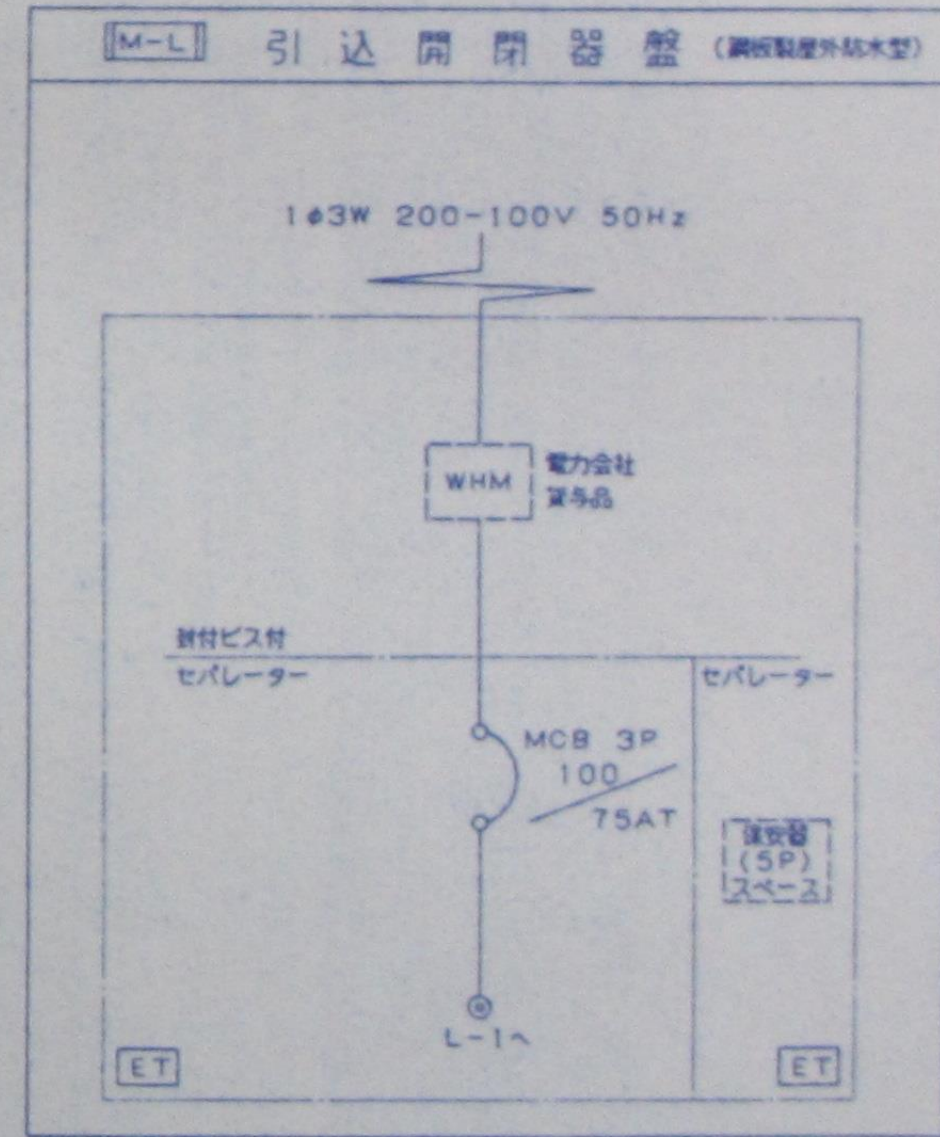
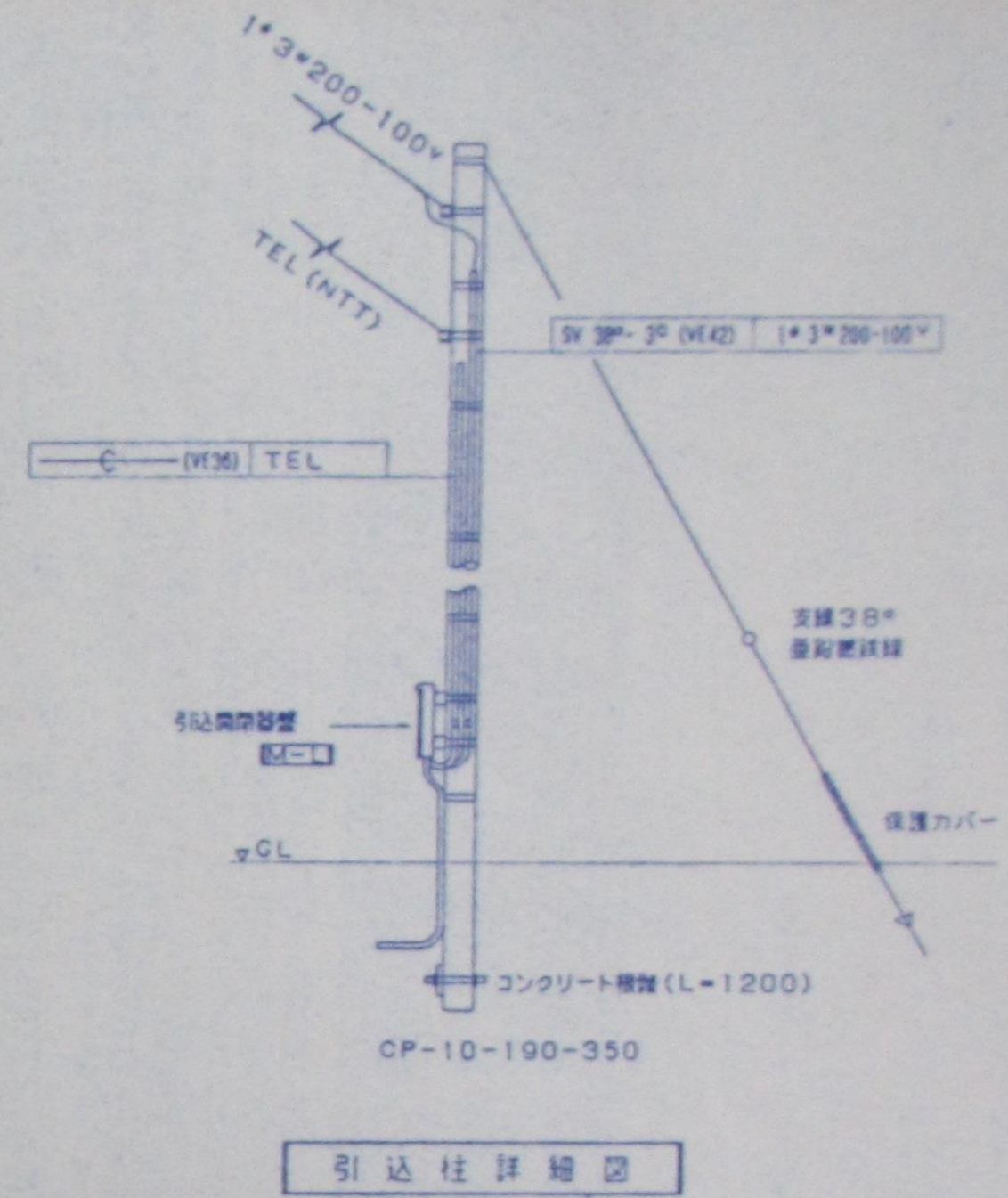
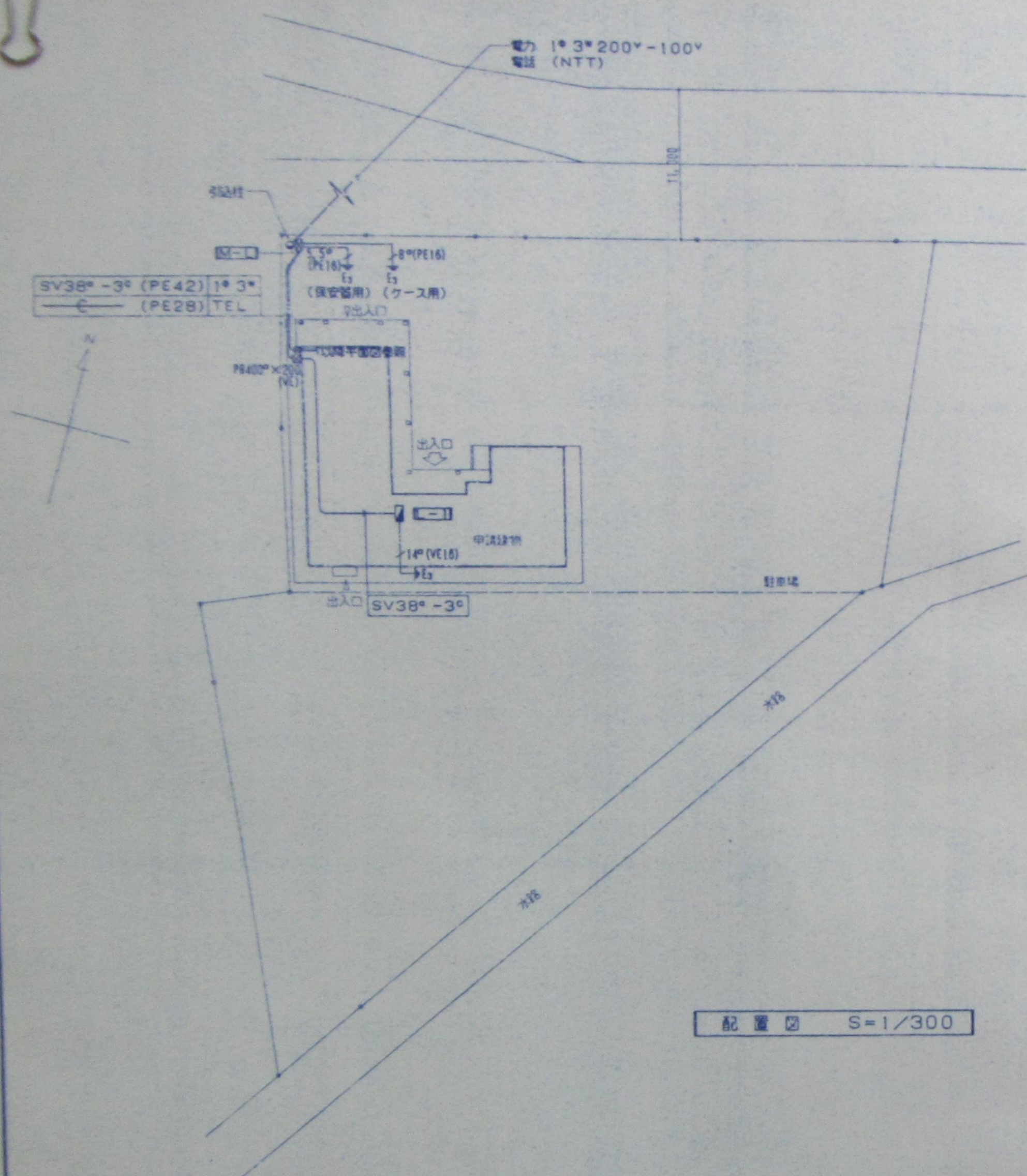
B~B' 断面图	S=1/100
----------	---------

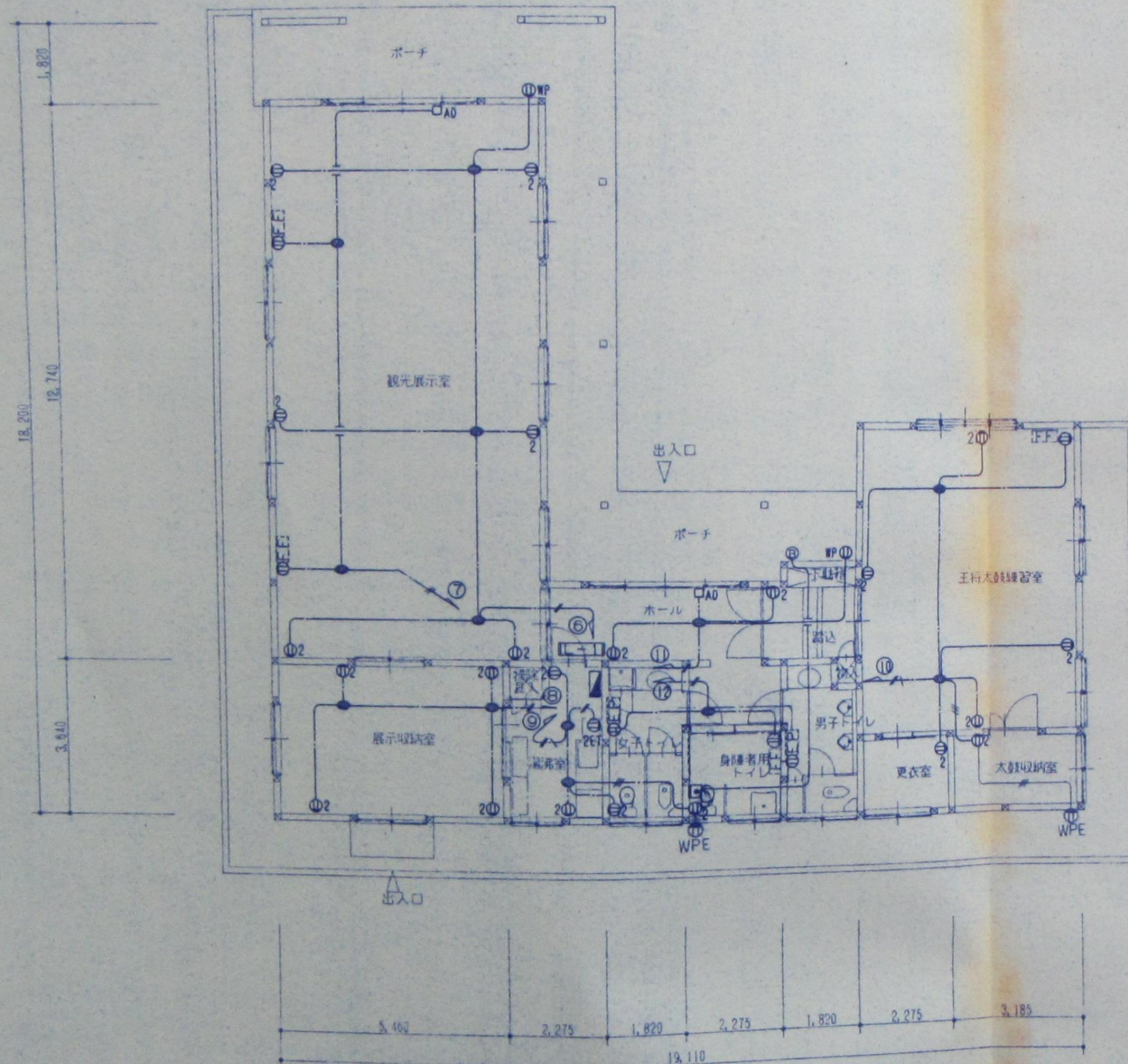


C~C' 断面图 $S = 1/100$

訂正	月	日		承認	担当	製図	設計年月日	工事名称	図面番号
								観光PRセンター新築工事設計図	
							縮尺	図面名称	
							S = 1/100	断面図	







平面図 S=1/100

凡例

記号	名称	備考
	電灯分電型	結線図参照
①	コンセント 2P15A×1	フルカラー
②	コンセント 2P15A×2	フルカラー
②ET	コンセント 2P15A×2+ET	フルカラー
③WP	コンセント 2P15A×3 (防雨型)	
●	ジョイントボックス Fケーブル用	
□	非常用押し 1a1b 埋込型	EK55相当品以上
⊙	ランプ付警報フリッカブザー (防雨型)	EA5401相当品以上
□AD	自動ドア接続ボックス	建築工事
FF	FFストープ	機械設備工事
FF	電気バネルヒータ	機械設備工事
—	天井内こがし配線	

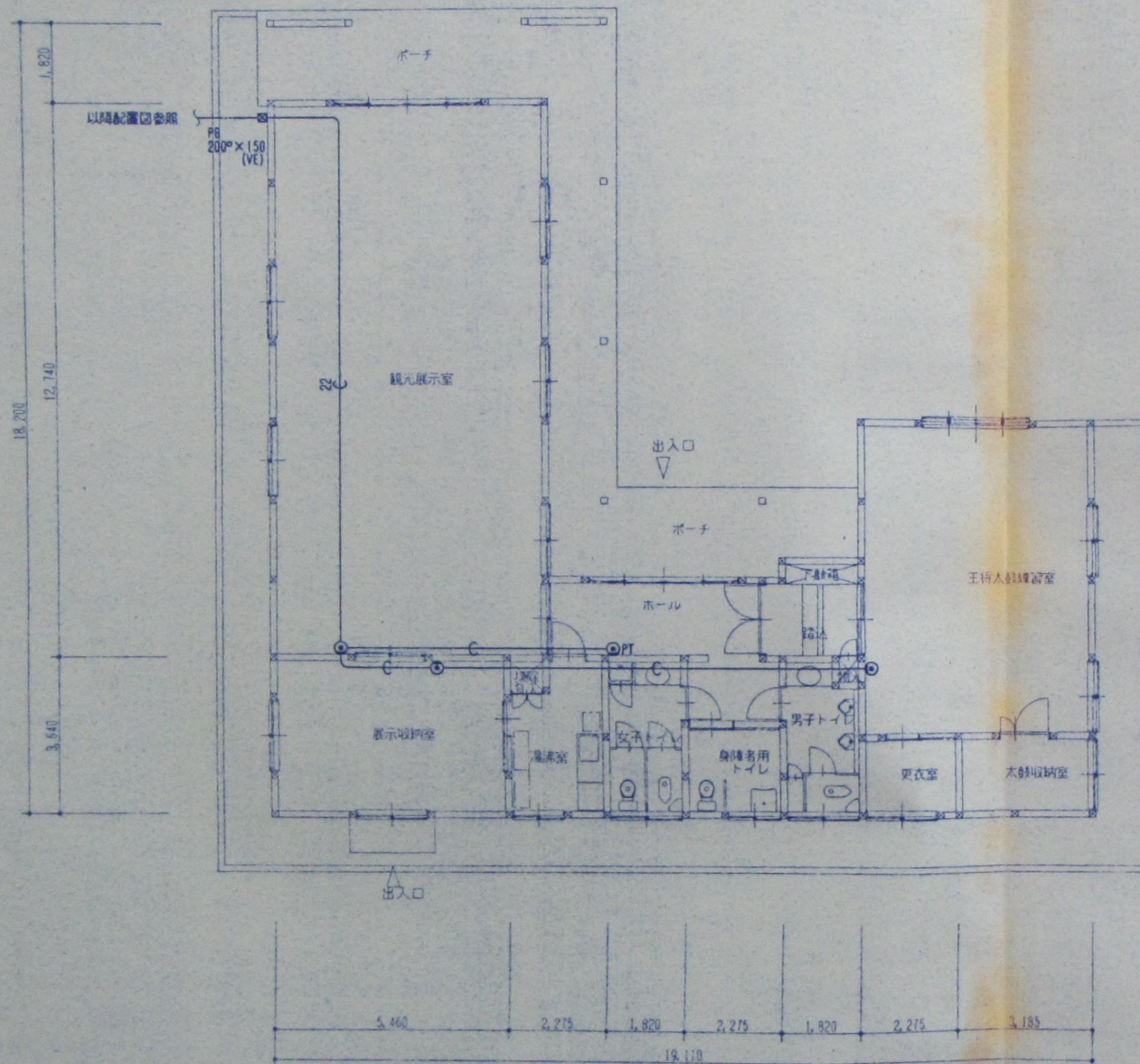
特記事項

特記なき配管配線は下記による。

- VVF2.0 - 2°
- VVF2.0 - 3°
- VVF1.6 - 2°
- VVF1.6 - 3°

訂正	月	日

承認	担当	製図	設計年月日	工事名称	図面番号
				観光PRセンター新築工事設計図	E-7
			縮尺 S=1/100	図面名称 コンセント設備 平面図	



平面図 S=1/100

凡例

記号	名称	備考
⊙	電話用アウトレットボックス	ノズルプレート
⊙PT	公衆電話用アウトレットボックス	ノズルプレート
⊠	ブルボックス	
—	天井いんべい配管	

特記事項

特記なき配管記号は下記による。

—C—	—C— (PF16)
—22—	—C— (PF22)

機械設備工事特記仕様書

1. 工事概要

1. 工事名 観光PRセンター新築工事設計図
2. 工事場所 青森県上北郡百石町字新助川原地内
3. 建築概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第1の区分	備考
観光PRセンター	木造	1階	194.60	15項(イ)	

4. 工事項目 (○印の付いたものを適用する。)

工種別 工事項目	工 事 種 目	屋 外
1 冷暖房設備		
② 換気設備	新設工事一式	
3 自動制御設備		
④ 衛生器具設備	新設工事一式	
⑤ 給水設備	新設工事一式	新設工事一式
⑥ 排水設備	新設工事一式	新設工事一式
⑦ 給湯設備	新設工事一式	
8 消火設備		
⑨ ガス設備	新設工事一式	
10 し尿浄化槽設備		
11 消火器設備		
⑫ 油断設備	新設工事一式	

5. その他

6. 設備概要 (○印の付いたものは、主要方式を示す。)

空調調和方式	空調	全空調方式	ファンコイルユニットダクト併用方式
	・パッケージ方式		
	○ 温風機房	○ 温風機房	・空気加温機
		・全空調方式	・ファンコイルユニットダクト併用方式
		・給湯用冷房考慮 (ダクト・配管・機器)・考慮外	
	・直接機房	・高気圧機房	・温風機房
給水方式	○水道直結方式	・高気圧機房方式	・自動給水方式
排水方式	建物内の汚水及び雨水	○分流式	・合流式
		・し尿浄化槽	○下水道直結
		・下水道直結	・側溝
		・し尿浄化槽	・その他
給湯方式	・炭火式	・中央式	
消火設備方式	・屋内消火栓 (1号・2号)	・(湿式・乾式)	・直結送水管
	・スプリンクラー	・(湿式・乾式)	・直結放水
	・ハロゲン化炭素火	・補助放水栓	

II. 工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて建設大臣官庁官庁建築部建築設計図集建築設備工事共通仕様書(平成5年版)及び建築設備工事標準図(平成5年版)による。
2. 優先順位は下記による。

1. 現場説明事項及び質疑応答事項 2. 特記仕様書 3. 工事設計図書
4. 建設大臣官庁官庁建築部建築設備工事共通仕様書
3. 特記仕様書
1) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項
1. 通 用 基 準 等	建築工事写真作成規程(東北地方建設局建築部建築平成5年版)による。 標準色見本帳 東北地方建設局建築部建築平成5年版による。
2. 技 能 士	本工事に下記の当該職種技能士を適用させる。 ○配管施工技能士 ○水道工事責任技術者 ○排水設備責任技術者 ・ボイラー配付工事主任者 ○液化石油ガス設備士 ・浄化槽設備士
3. 工事に電力、水、その他	1) 本工事に必要な工事に電力、水などの費用はすべて請負者の負担とする。 2) 本工事に必要な関係官庁公署に対する諸手続、届出、申請の一切は遅滞なく行い その費用は本工事に含み、請負者が責任をもって代行するものとする。 3) 着工前に各機器の製作図及び使用資材の承認書並びに施工図を提出し、承認後制作 施工するものとする。 4) 本工事に関係ある法令、条例、基準、規程に準拠するものとする。 5) 創設なる変更工事に対しては請負金額の増減を原則として行わないものとする。 6) 防火区画貫通は関係法令及び工法により施工するものとする。
4. 工 事 用 仮 設 物	構内に作ることが ・出来る ・出来ない
5. 現 土 処 分	○構外搬出適切処理 ・構内指示の場所に搬出し ・構内指示の場所にたい積
6. 完 成 図 ・ そ の 他	
1) 報 告 書	1. 建設工事下請報告書 本工事に於いて下請契約金額が1件100万円以上の場合は報告書2通を監督員に提出する。 2. 主要機器資材メーカー報告書 本工事に於いて使用する主要機器資材メーカーリスト2通を監督員に提出する。 完成写真はカラーサービス版でA4版スクラップ貼にし、撮影月日、撮影者の場所、工事 種別を記入し、下記のものに原簿とも監督員に提出する。完成写真 3部、工事写真 1部 ○二つ折製本 3部 ○A3版半透明紙(WP)で全1部提出する。
7. 測 定 値	試運転調整完了後すみやかに下記の測定値を監督員に提出する。 ・温度 ・湿度 ・風量 ・騒音 ・浄化槽排水量 ・圧力 ・
8. 容 量 の 表 示	イ) 電動機出力などは、表示された出力以下の容量とする。 ロ) 冷・温熱源機器等及び防火機器の能力、容量はその数値以上のものとする。 ハ) 熱源の周波数は、50Hzとする。
9. は つ り	既存のコンクリート部の床、壁の配管貫通部の穴明けは原則として、 ダイヤモンドカッターによる。
10. ス リ ー プ	建物内部の床、防水床、防水壁のスリーブは、共通仕様書による。その他の床、壁を貫通 するスリーブは鋼製でよいが配管施工前に必ず取外し、適切処理する。 イ) 継手等については、特に電気工事業者と事前打合せを行う。 ロ) 機器付属の制御盤及び制御盤の二次側電気工事はすべて ○別途 ・本工事 ハ) 機器付属の制御盤及び制御盤の二次側電気工事はすべて ○本工事 ・別途
11. 他 工 事 と の 取 合 い	ニ) すべてのスリーブ入れ及び管入れは ○本工事 ・別途 ホ) スリーブ及び管入れの補修工事は ○別途 ・本工事 ヘ) 天井、壁のボード類(軽量鉄骨も含む)の穴明け及び下地切込みは ○別途 ・本工事 イ) 管周囲の保護 ○山砂 (道路部分)
12. 管 周 圍 の 保 護 砂 及 び	

埋め戻し土・盛土

13. 埋 手
14. 防 食
15. 配 管 要 領

ロ) 埋め戻し土 ○根切り土の改良土 ・山砂
埋め戻し土及びボリ粉体土等が混合する場合は普通砂利を
(○使用する ・使用しない)
土中埋設及びコンクリート埋設の防食は防食を (○行う ・行わない)
下記の配管要領は標準図の当該事項による。特に明示のない管径のサイズは、標準図と
同サイズとする。

- ・冷温水コイル機り ・加温機り ・自動エア抜き装置
- ・熱交換器温水ボイラー機り ・チリブユニット、遠心冷凍機り
- ・冷却機り ・冷温水、冷却水ポンプ機り
- ・ファンコイルユニット機り ・暖房タンク機り
- ・オイルサービスタンク機り ・受水タンク機り
- ・排水ポンプ機り ・消火ポンプユニット機り
- ・プロパンガスボンベ機り

暖 房 冷 房 空 気 調 和 設 備

1. 温 度 調 整 目 標 値

	外 気 条 件		室 内 (目 標 値)					
			一 般 系 統					
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
冬期	22℃	%	-6.5℃	%	℃	%	℃	%
夏期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%

2. 建 突
3. 建 道
4. 放 熱 器

・別途 ・本工事(鋼板厚 mm、高さ mm以上)
・鋼板厚300以下は3.2mm、300を越えるものは4.5mmとする。
機種指定は、下記による。
・温水 入口温度 ℃ 出口温度 ℃ 風量設定 達
運転表示灯を ・取付ける ・取付けない
イ) 温水機用には弁種のはかビーコックを ・取付ける ・取付けない

5. ダ ク ト

6. ダ ク ト 工 法

7. ダ ク ト の 分 岐 方 法

8. 吹 出 口 及 び 吸 込 口

9. 防 火 ダ ン パ

10. 配 管 材 料

11. 弁

12. 温 度 計

13. 防 凍 機 手

14. フレキシブルジョイント

15. 消 音 内 貼 り

○低速 ・高速
・フングル工法 ・コーナーボルト工法(・共振工法 ・スライド工法)
原則として割り込み方式とする。
アルミ製又は鋼製とする。
図示のFVDとは、防火ダンパに風量調節機構を組み込んだもので、調節機構は
段階的調節機構とする。
イ) 冷温水管 ・配管用炭素鋼管(白)
ロ) 冷水管 ・配管用炭素鋼管(白) ・ライニング鋼管
ハ) 高気圧 給気管 ・配管用炭素鋼管(黒)
温水管 ・圧力配管用炭素鋼管 ・配管用炭素鋼管(黒)
ニ) 油 管 ・配管用炭素鋼管(黒) ・鋼管 ○鋼管鋼管
ホ) 配管管、空気配管管、配管タンクよりボイラへの給水管
・配管用炭素鋼管(白)
ヘ) 空調用排水管 ・配管用炭素鋼管(白) ・ビニール管(・VP ・VU)
・ JIS5kg/cm² ・ JIS10kg/cm²
共通仕様書によるほか、下記の箇所に取付付ける。(配管用はL形、ダクト用は丸形)
イ) 空調用配管、温風機用配管の給気ダクト、温水ダクト及び外気ダクト
ロ) 冷温水ヘッダー(注)及び冷温水ヘッダーの各配管
ハ) パッケージ型空調用配管の冷温水及び温水の出入口
・合成ゴム製 ・ベローズ形
・ベローズ形ステンレス製 ・合成ゴム製
イ) 施工箇所は図示による。

暖房機器表

記号	名称	仕様	電動機			数量	備考
			φ	V	W		
FF-1	石油温風暖房機	FF式 暖房能力: 8430 kcal/h 使用燃料: 白灯油 (1.10/h) 給排気高セット 他一式共	1	100	104	2	観光展示室
FF-2	石油温風暖房機	FF式 暖房能力: 6890 kcal/h 使用燃料: 白灯油 (1.10/h) 給排気高セット 他一式共	1	100	104	1	王将太鼓練習室
EPH-1	電気パネルヒーター	壁掛形 暖房能力: 370 kcal/h サーモスタット内蔵 メクラプレート共	1	100	500	1	女子トイレ
EPH-2	電気パネルヒーター	壁掛形 暖房能力: 360 kcal/h サーモスタット内蔵 メクラプレート共	1	100	500	1	男子トイレ
EPH-3	電気パネルヒーター	壁掛形 暖房能力: 230 kcal/h サーモスタット内蔵 メクラプレート共	1	100	500	1	身障者用トイレ
OT-1	ホームタンク	屋外設置形 消防用表示 容量: 白灯油 (490ℓ) ストレーナ, バルブ, 通気金具 他一式共 防油堤: 110%以上 (建築工事)	—	—	—	1	屋 外

訂正

所、日

承認 担当 製図

設計年月日

工事名称

観光PRセンター新築工事設計図

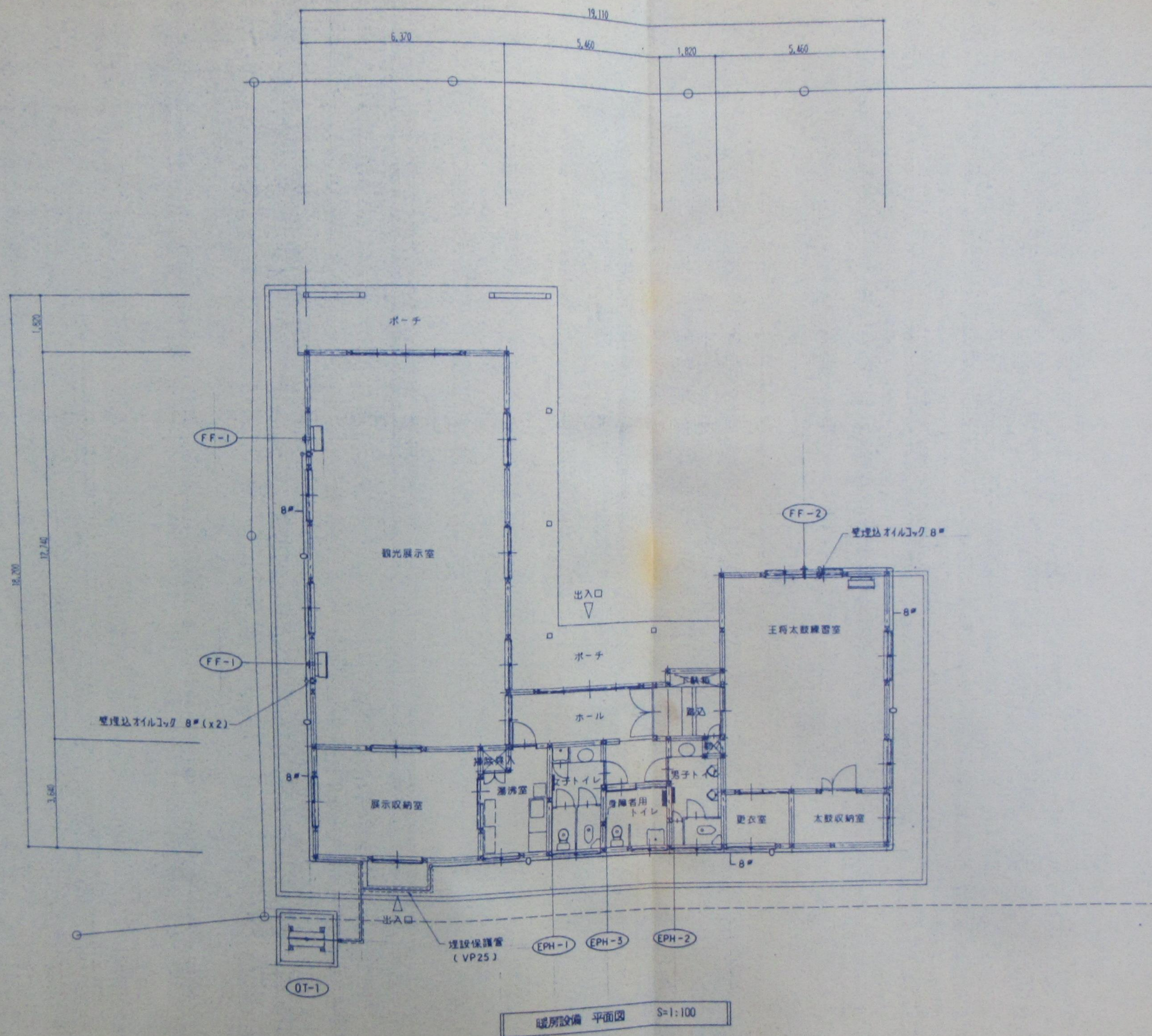
図面番号

M-7

縮尺

図面名称

暖房機器表



訂正	月	日		承認	担当	製図	設計年月日	工事名称	図面番号
								観光PRセンター新築工事設計図	M-8
							縮尺 S=1:100	図面名称 暖房設備 平面図	

換気機器表

記号	名称	仕様	電動機			数量	備考
			φ	V	W		
DK-1	レンジフード	低騒音タイプ 150φ 630m ³ /h×8.0mmAq 丸形フード(ステンレス製・防虫網付)	1	100	87	1	湯室室 (建築工事)
DK-2	ダクト用換気扇	低騒音タイプ 150φ 370m ³ /h×5.0mmAq 丸形フード(ステンレス製・防虫網付)	1	100	74	2	観光展示室
DK-3	ダクト用換気扇	低騒音タイプ 150φ 290m ³ /h×3.0mmAq 丸形フード(ステンレス製・防虫網付)	1	100	42	1	王術太鼓練習室
DK-4	ダクト用換気扇	低騒音タイプ 150φ 250m ³ /h×3.0mmAq 丸形フード(ステンレス製・防虫網付)	1	100	25	1	展示収納室
DK-5	ダクト用換気扇	低騒音タイプ 100φ 150m ³ /h×4.0mmAq 丸形フード(ステンレス製・防虫網付)	1	100	22	2	女子トイレ 男子トイレ
DK-6	ダクト用換気扇	低騒音タイプ 100φ 110m ³ /h×3.0mmAq 丸形フード(ステンレス製・防虫網付)	1	100	16	1	身障者用トイレ

火気使用室における建設省告示第1826号に係る換気計算

室名	換気量	
使用ガス種別	LPG	12000kcal/kg
換気方式・計算式	第三種換気	$V=40K \cdot Q$
使用ガス器具 及び消費量	1口コンロ	0.18 kg/h
	5号湯沸器	0.8 kg/h
	0.98 kg/h	
必要換気量	$V=40 \times 12.9m^3/kg \times 0.98kg/h = 505.68m^3/h$	
設置排風機	DK-1	510m ³ /h
有効換気の判定	505.68m ³ /h < 510m ³ /h OK	

訂正

月

承認 担当 製図

設計年月日

工事名称

観光PRセンター新築工事設計図

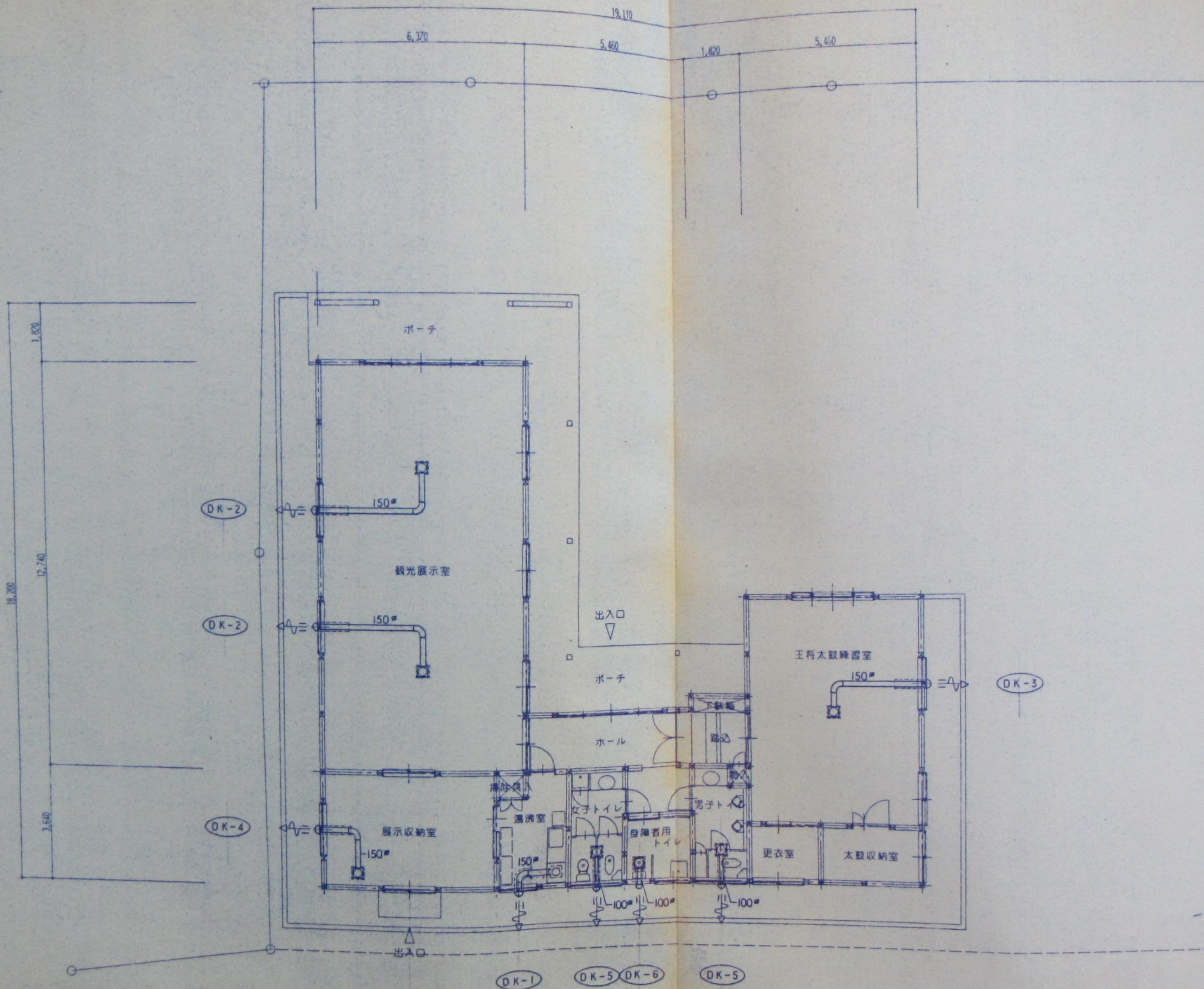
図面番号

縮尺

図面名称

換気機器表・計算書

M-9



換気設備 平面図 S=1:100

※排気用スパイラルダクトは外壁から1.0mまで防露施工(RW25t)する

訂正	月・日



承認	担当	製図	設計年月日	工事名称
				観光PRセンター新築工事設計図
			縮尺 S=1:100	図面名称 換気設備 平面図